
いい夫婦の日 (ギンイツ)

雪代水 陽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いい夫婦の日（ギンイツ）

【Nコード】

N9901Y

【作者名】

雪代水 陽

【あらすじ】

1122（いい夫婦の日）に市丸夫妻のショートを書いてみました。

「今日はいいい夫婦の日らしいですよ」

陽のあたる中庭に面した縁側で市丸ギンは吉良イヅルの膝に頭を預けていた。

「なんや語呂合わせやないの」

「日本人はこういう言葉遊び好きですよね」ギンの耳かきをしながら、笑顔で言葉を続けるイヅル。

「ほな明日は1123 いい兄さんなん」

「ですねえ。朽木隊長でしょうか」

「真面目だけが取り柄の兄貴のどこがいい兄さんなん」

「朽木さんも慕ってますしね。微笑ましいです」

「1124は」

「難しいですね」

「そないなんでも事語呂合わせにでけんやろ。毎日イベントやで」

「そういやアレはひどかったなア」

「何がです」

「あれや。0721や」

「……」

「うわっ！ちょ！イヅル！耳かき痛い！」

「よくも傷を抉ってくれましたね」

「わかる！わかるけど、耳にもいつこ穴あくやん！！」

「あの企画で僕がどんな目にあつたかご存知でしょう」

「うん。うなぎで　って、なんで耳かき振り上げてるん」
「それ以上喋つたら隊長といえど容赦しません」

（ホンマイヅルは超がつく潔癖症やからなあ　あないなカツコを人様に晒されて恥ずかしいのはよう解る。
せやけど　せやから需要があるうちゅうことを体験していかなアカンのや！！）

「あんなあ　イヅル」

「今…　ものすごく卑猥なことを考えましたね」

「アカン　潔癖症なだけにいつも以上に過敏になってんな」

「イヅル！」

「なんでしようか」

「いい夫婦の日なら、僕ら仲良うせなあかんのと違う？」
「は？」

「イヅルは僕の奥さんやないの」

「違いますよ。副官です」

「女房役いうことやる？」

「補佐役ということです」

「なら、夫婦の日らしいことしよ」

「（相変わらず話聞いてないな。この人）しょって…んっ…たいちよ…っ」

「イズル頂きますー」

……

「で、なんで僕が耳かきしていただいてるんでしょう」

「いい夫婦の日なんやろ」

「はい でも」

「いつもお務めご苦労さん」

「あ」

「簪がわりにええやろ」

「これ秋桜 隊長が毎年育てていらっしやるものでは」

「イズルに似合うんちゃうかな思て」

「女じゃないんですから…」

「やって、イズル以上に綺麗な女は居てへんよ。僕は果報者ということやね」

「…隊長が仰るならそういう事にしておきます」
「おおきに」

「いい夫婦だなんて…。ご期待に添えるかわかりませんが。これからもよろしく願います」

「自分、なんちゅうか、ホンマにそういうところかなわんわ」

「そろそろ風が冷たくなってきましたから部屋に入りましょう。夕餉なんにしましょうか」

「鍋しよ。鍋」

「はい」

「熱燗もな」

「明日も仕事だからお銚子は1本だけですよ」

「ほんまいけずやなあ」

「旦那さまの体調に気を配るのが女房のつとめですから」

「ほな、ゞはイヅルいただこ」

「はいはい鰹削ってくださいね。旦那さま」

— おしまい —

（後書き）

0721ネタは餡さまから頂戴いたしました。ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9901y/>

いい夫婦の日 (ギンイツ)

2011年11月29日22時50分発行